

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
27-223	高等学校	外国語	コミュニケーション英語Ⅱ	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教科書名		
104・数研	コⅡ・341	Revised BIG DIPPER English Communication Ⅱ		

1. 編修の基本方針

本教科書の編修にあたっては、学習者が**日常的・社会的な話題**を通じて**人間性や社会性を育む**ことができ、かつ「コミュニケーション英語Ⅰ」で培った**英語の運用能力を更に伸ばし、英語を用いて積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度**を伸ばせる内容・構成となるよう留意した。

1. 題材は学習者に親しみやすく、かつ学習者の生きる力を育成する内容豊かなものを選んだ。
2. 言語活動においては「コミュニケーション英語Ⅰ」とのスムーズな連携を考慮、また、確かな定着を目的として反復活動を重視した。
3. 題材を学習するにあたっては、「読む」「聞く」「書く」「話す」の4技能を有機的に関連させる活動を設けた。
4. 読んだり聞いたりした内容について、学習者自身の意見を引き出す、学習者同士で意見を述べさせるなどの活動を設け、学習者が積極的に授業に参加できるようにした。
5. 「言語の働き」に重点を置いた Function を設けた上で、具体的な使用場面を設定するなど、積極的にコミュニケーション活動が展開できるようにした。

上述した内容・構成によって、学習者が**多様な知識と教養**を身につけ、主体的に**社会の形成に参画**し、自他国の伝統・文化を尊重しつつ**国際社会の平和と発展に寄与する**態度を養うことができる教科書となるように編修した。

2. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
前見返し Pierre de Coubertinのことば	・Pierre de Coubertinのメッセージを読むことで、個人の価値を尊重して、創造性を培い、自主及び自律の精神を養う。 (第2号)	前見返し表
Lesson 1～10	・さまざまな内容の英文を読み、活動を行うことによって、幅広い知識と教養を身に付ける。 (第1号)	全般

	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の和食と外国でアレンジされた和食に関する題材を読み、自分の意見を表現することで、他国の文化及び我が国の文化を尊重する態度を養う。(第5号) ・日本におけるセラピー犬の訓練やその働きに関する題材を読み、自分の意見を表現することで、正義と責任、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養う。(第3号) ・人間の記憶の特徴と有効な記憶法に関する題材を読み、自分の意見を表現することで、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養う。(第1号) ・多様な立場の人間が商品開発に関わることの重要性に関する題材を読み、自分の意見を表現することで、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養う。(第3号) ・上野隆博氏の半生と職業に対する考え方に関する題材を読み、自分の意見を表現することで、個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を養うとともに、勤労を重んずる態度を養う。(第2号) ・環境保護のための運動・考え方につき、科学的・客観的な見地から再評価する題材を読み、自分の意見を表現することで、自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養う。(第4号) ・スポーツにおけるフェアプレーの精神やその実例に関する題材を読み、自分の意見を表現することで、正義と責任、自他の敬愛と協力を重んじる態度を養う。(第3号) ・平等意識や公平の観念を養うため、男女・人種などにおいて、偏りが生じないように配慮した。(第3号) 	<p>Lesson 1 (6～15頁)</p> <p>Lesson 2 (16～25頁)</p> <p>Lesson 3 (28～39頁)</p> <p>Lesson 5 (60～71頁)</p> <p>Lesson 6 (72～83頁)</p> <p>Lesson 8 (98～109頁)</p> <p>Lesson 9 (112～123頁)</p> <p>写真・イラスト全般</p>
Function 1～5	英語で会話するための基本的な知識を、反復練習により定着させる。(第1号)	26-27, 52-53, 84-85, 110-111, 136-137頁
Acting Out	英語の寸劇を読み、場面設定や登場人物の心情を考えながら音読をすることにより、豊かな情操を培う。(第1号)	54～59頁
Reading	物語文を読み、登場人物の性格や作者の意図につき、グループで意見を述べ合い、まとめることで、豊かな情操を培う。(第1号)	132～139頁
後見返し つなぎ表現/ 単語の成り立ち	英語の「つなぎ表現」や単語の接頭辞・接尾辞についての知識を身につけさせる。(第1号)	後見返し表

3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

I. 教科書の特色

A. 見開き構成で喚起する学習意欲

- 1時限で無理なく終わられる。学習意欲の湧く分量・レベルとすることで、一般的な教養を高め、専門的な知識・技術を習得させることに役立ちます。

B. 生徒の意見を引き出す題材・無理なく生徒に英語を使わせる工夫

- 「和食」「セラピー犬」「宇宙エレベーター」「本当のエコとは」「フェアプレー」などバラエティ豊かな「生徒が話したくなる／話す価値のある」トピックを揃えることで、豊かな人間性、創造性を養うことに役立ちます。

C. 効果的なスパイラル学習で定着する活動

- 本文で扱った文法・語い・テーマを、設問の中で繰り返して活用できます。
本文に関連した内容の簡単なペアワークで、自己表現活動を行うことによって、個性の確立に努め、社会について広く深い理解と健全な批判力を養うことに役立ちます。

II. 各課の構成

本文理解を中心しつつ、無理なく生徒が英語を使う活動を促す見開き構成です。

1. 導入ページ

Your Goal! : 語い・文法・機能表現・内容の観点でその課の学習目標を示しています。

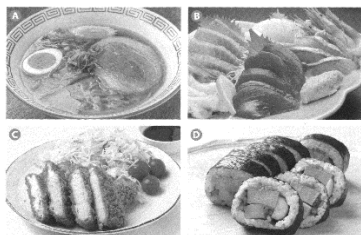
Your Goal!

Vocabulary	Grammar	Function	Contents
「食事」「伝統」に関する語を覚えよう。	「現在完了」「受動態」「SV＋現在分詞・過去分詞」の表現を復習しよう。	数の増減を伝える表現を学ぼう。	日本や外国の食文化について調べて発表しよう。

Warm Up : 1…音声聞いて、内容に合致する写真などを選ぶ問題です。

2…写真などについてペアになって会話をする活動です。

★負担にならないよう、ここでは選択式の解答を中心にしています。



2 Get into pairs and talk about Pictures A to D.

A: Many foreigners like these Japanese dishes. Which do you like the best of the four dishes?

B: I like _____.

A: Why do you like it?

B: I like it because (it gives me stamina / I like the rich (濃厚な) soup / I can enjoy many kinds of fish / _____).

2. 本文ページ

本文：写真・イラスト・図表などで本文内容を補足しています。

脚注：代名詞や言い換えの確認をすることで、本文理解を手助けします。また、辞書の引き方や発音・アクセントの確認ができます。

4. himはだれを指しますか。 14. themは何を指しますか。

2. be *afraid of 辞 3. approachの品詞は？

Hints for Understanding：ターゲットとなる文法事項の簡単な説明です。

Read It Through：本文理解を確実にするための内容把握問題です。

設問(A)は T/F 問題でほぼ固定し、本文の概略を押さええます。

設問(B)は適宜イラストや図表を用い、形式にバラエティを持たせています。

Read It Through

A Answer true or false.

1. We can eat traditional Japanese cuisine in some overseas restaurants.
2. Some restaurants adapt Japanese food to local tastes.
3. The new sushi with fruits did not become popular overseas.

B Fill in the blanks.

Japanese food at overseas restaurants

	Traditional sushi	Some sushi overseas
Sauce	() sauce	() sauce
Fillings or toppings	() fish	fresh () and ()

Let's talk：本文内容に関連したペアワークによる英語活動です。学習者の負担を軽くするために、対話のパターンを示し、ヒントも多く提示しています。

Let's talk

A: Do you often eat sushi?

B: (Yes, I do. / No, I don't.)

A: There are new types of sushi. What vegetables or fruits would you like to try as sushi toppings?

B: Well, I'd like to try _____.

A: It sounds _____.

Hints tomato / pumpkin / broccoli / strawberry / kiwi fruit

nice / awful / unique

*broccoli [brɑ:kəli] ブロッコリー awful [ɔ:fʌl] ひどい

インターネット
などで
どんな例があるか
調べてみよう。



3. 課末ページ

Vocabulary Building : 英語のヒントから各パートの**新語**を見つける活動です。ゲーム感覚で楽しく取り組みながら、**本文の内容を思い出す手助け**にもなります。

Vocabulary Building

▶ **Read the hints and find the words in the text.**
(ヒントを読んで、本文から単語を見つけよう。)

Part 1

1) c u [] [] [] [] [] [] ... a certain style of cooking

2) h e [] [] [] [] [] [] ... the things that we give to the next generation

Part 2

3) c u [] [] [] [] [] [] ... a person who buys goods or services

Summary : 本文全体の要点をまとめる活動です。図表・年表・文章によるまとめなど、**本文内容に応じた形式**になっています。

Summary

LESSON

▶ **Fill in the blanks.**

Part 1	In (), UNESCO added traditional Japanese () to its Intangible Cultural () List.
Part 2	Some Japanese restaurants overseas serve meal in the same way as in Japan. However, other restaurants () Japanese food to () tastes.
Part 3	Japanese () school children like <i>ramen</i> . It has been adapted to Japanese tastes. It can be said that creative () of foreign dishes is a characteristic of Japanese cuisine.

Active Study : 本文内容を基に主体的な学びを促す**調べ学習・発表**などの活動です。

Active Study 好きな料理を1つ選んで、その特徴や作り方を調べて英語で発表してみよう。

Review : 文法事項のまとめです。適宜空所を設け、**主体的な学習**を促します。

G SVC (C = 現在分詞/過去分詞) 分詞は主語の説明をする補語(C)の働きをする。

a. A boy came running to me. 男の子が私のほうに走ってきた。
S V C (現在分詞)

b. The restaurant has remained closed for two weeks.
S V C (過去分詞) そのレストランは2週間()。

Drills : Review で扱った文法事項を確認する練習問題です。Review の解説項目[A][B][C]に合わせた**項目対応大問**となっているので、ひとつの文法項目に集中して取り組みます。

★Drills の指示文はすべてパターン化した平易な英問になっています。

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表, 配当授業時数表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
27-223	高等学校	外国語	コミュニケーション英語Ⅱ	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
104・数研	コⅡ・341	Revised BIG DIPPER English Communication Ⅱ		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

I. 全般的な留意点

- A. 題材は、生徒の人間として**調和のとれた育成**に寄与するもので、知的好奇心を刺激する**バラエティに富んだ内容**を取り揃えた（食文化の異文化間影響、宇宙開発、多様な視点からの商品開発、スポーツ倫理、環境問題など）。
- B. 英語を通じて、**積極的にコミュニケーションを図る態度**を育成するため、問題演習の**指示文は英語を用いた**。また、言語活動を行いやすいように、**具体的な指示・モデルパターン**を掲載した。
- C. **情報や考えを的確に理解して伝える能力**を習得できるよう、**4技能を段階的に伸ばすことができる構成**とした（導入のリスニング・会話活動／各本文脚注の音声面の確認／Function の課におけるまとまった英文を書く活動。また、各パートにペアワークによる自己表現活動 Let's talk を用意した）。

II. 教科書の構成

A. 本課・導入ページ

- ① トビラ：生徒の興味を引き、題材への興味を喚起する写真。
- ② **Your Goal!**：語い・文法・機能表現・内容の観点でその課の学習目標を示す。
- ③ **Warm Up**：1. 音声から写真などを選ぶ問題。／2. 写真をもとに対話する活動。

B. 本課・本文ページ

- ① 脚注：〈1〉指示語などの確認。〈2〉成句の提示/辞書指導・音声指導の関連問題。
〈3〉固有名詞や語句の読み方など。
- ② **Hints for Understanding**：ターゲットとなる文法の解説。
- ③ **Read It Through**：(A)T/F 問題, (B)さまざまな形式の問題 による内容把握。

④ **Let's talk** : 本文内容に関連したペアワークによる自己表現活動。

※レッスンによっては、調べ活動となる **Let's Research** もあり。

C. 本課・課末ページ

① **Vocabulary Building** : 英語のヒントから各パートの新語を見つける活動。

② **Review** : ターゲットとなる文法の解説。

③ **Summary** : 本文全体の要点をまとめる活動。

④ **Active Study** : 本文内容を基に主体的な学びを促す調べ学習・発表などの活動。

⑤ **Drills** : Review で扱った文法事項を確認する練習問題。

D. Function

① **Key Expressions** : 機能表現の定型を提示。

② **リスニング問題** : 機能表現を耳で確認。

③ **Model Dialogue** : 対話文で機能表現の自然な使われ方を確認。

④ **Work with a classmate.** : Model Dialogue の型を用いた言い換え練習。

③ **It's Your Turn!** : 機能表現を用いて文を書く問題。

E. その他の構成要素

Acting Out : 会話で構成された**英語の寸劇**。場面に合った**音読**を学ぶ。

Reading : 心温まる感動の物語。**フィクション**を扱い、登場人物の性格や作者の意図につき、
グループで話し合い、意見をまとめる。

2. 対照表

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当 時数
Lesson 1～10	<p><内容></p> <p>(1)-ア 事物に関する紹介や報告, 対話や討論などを聞いて, 情報や考えなどを理解したり, 概要や要点をとらえたりする。</p> <p>(1)-イ 説明, 評論, 物語, 随筆などについて, 速読したり精読したりするなど目的に応じた読み方をする。また, 聞き手に伝わるように音読や暗唱を行う。</p> <p>(1)-ウ 聞いたり読んだりしたこと, 学んだことや経験したことに基づき, 情報や考えなどについて, 話し合うなどして結論をまとめる。</p> <p>(1)-エ 聞いたり読んだりしたこと, 学んだことや経験したことに基づき, 情報や考えなどについて, まとまりのある文章を書く。</p> <p>(2)-ア 英語の音声的な特徴や内容の展開などに注意しながら聞いたり話したりすること。</p> <p>(2)-イ 論点や根拠などを明確にするとともに, 文章の構成や図表との関連などを考えながら読んだり書いたりすること。</p> <p>(2)-ウ 未知の語の意味を推測したり背景となる知識を活用したりしながら聞いたり読んだりすること。</p> <p>(2)-エ 説明や描写の表現を工夫して相手に効果的に伝わるように話したり書いたりすること。</p> <p><内容の取扱い></p> <p>(1) 中学校におけるコミュニケーション能力の基礎を養うための総合的な指導を踏まえ, 聞いたことや読んだことを踏まえた上で話したり書いたりする言語活動を適切に取り入れながら, 四つの領域の言語活動を有機的に関連付けつつ総合的に指導するものとする。</p> <p>(2) 生徒の実態に応じて, 多様な場面における言語活動を経験させながら, 中学校や高等学校における学習内容を繰り返して指導し定着を図るよう配慮するものとする。</p> <p><〔言語の使用場面の例〕の取扱い></p> <p>b 生徒の身近な暮らしや社会での暮らしにかかわる場面</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校での学習や活動 ・職場での活動 <p>c 多様な手段を通じて情報などを得る場面</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本, 新聞, 雑誌などを読むこと ・情報通信ネットワークを活用し情報を得ること 	<p>各レッスン Warm Up 1</p> <p>① 各 レ ッ ス ン Read It Through, 及び Summary ②89頁 Tips for Reading</p> <p>①各レッスン Let's talk ②123, 135頁 Active Study</p> <p>①各レッスン Active Study ②133頁Let's talk</p> <p>①脚注の音声指導(34, 42, 44, 80, 94,102, 126頁) ②13頁 Tips for Reading</p> <p>①図や表と本文の関連(12, 34, 42, 106頁) ②89頁Tips for Reading</p> <p>①各レッスン Warm Up ②93頁Tips for Reading</p> <p>①13頁 Tips for Reading ②Function 2</p> <p>各レッスン Let's talk 及び Active Study (読んだことを踏まえて話す・書く活動)</p> <p>9, 11, 19, 23, 31, 35, 37, 45, 79頁Hints for Understanding, Lesson 1, 2, 3, 4, 6 Review及びDrills (コミュニケーション英語 I の文法事項を扱う)</p> <p>①Lesson 4 本文(クラブ活動中の会話) ②Lesson 5 本文(職場)</p> <p>各レッスン Active Study</p>	78

	<p>< [言語の働きの例] の取扱い> a コミュニケーションを円滑にする ・相づちを打つ / 話題を発展させる</p> <p>< 文構造のうち、運用度の高いもの> a-(a) 主語+be動詞以外の動詞+分詞 c-(a) 主語+動詞+間接目的語+thatで始まる節 d-(a) 主語+動詞+目的語+分詞</p> <p>< 文法事項> (7) 不定詞の用法 ・完了不定詞 (i) 関係代名詞の用法 ・非制限的用法 (7) 関係副詞の用法 ・関係副詞 ・非制限的用法 ・複合関係代名詞 (e) 助動詞の用法 ・助動詞+have+過去分詞 (6) 代名詞のうち、itが名詞用法の句及び節を指すもの ・形式目的語 (6) 動詞の時制など ・過去完了形 ・未来進行形 ・進行形の受動態 ・現在完了進行形、過去完了進行形 ・未来完了 (6) 仮定法 ・仮定法過去 ・仮定法過去完了 ・as if+仮定法 ・If S were to ~ ・if節に代わる表現 (7) 分詞構文 ・受動態の分詞構文</p>	<p>各レッスンLet's talk</p> <p>14-15頁Review C, Drills C 24-25頁Review B, Drills B</p> <p>82-83頁Review A, Drills A</p> <p>70-71頁Review D, Drills D</p> <p>38-39頁Review B, Drills B 70-71頁Review B, Drills B</p> <p>38-39頁Review B, Drills B 50-51頁Review B, Drills B 122-123頁Review D, Drills D 122-123頁Review B, Drills B</p> <p>70-71頁Review C, Drills C</p> <p>108-109頁Review C, Drills C</p> <p>14-15頁Review A, Drills A 50-51頁Review C, Drills C 108-109頁Review A, Drills A 108-109頁Review D, Drills D 134-135頁Review A, Drills A</p> <p>50-51頁Review A, Drills A 82-83頁Review B, Drills B 96-97頁Review A, Drills A 96-97頁Review B, Drills B 96-97頁Review C, Drills C</p> <p>82-83頁Review C, Drills C</p>	
Acting Out	<p>< 内容> (1)-ア 事物に関する紹介や報告、対話や討論などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。 (1)-イ 説明、評論、物語、随筆などについて、速読したり精読したりするなど目的に応じた読み方をする。また、聞き手に伝わるように音読する。</p>	<p>59頁 リスニング問題</p> <p>54頁 音読のすすめ</p>	4
Reading	<p>< 内容> (1)-イ 説明、評論、物語、随筆などについて、速読したり精読したりするなど目的に応じた読み方をする。また、聞き手に伝わるように音読する。</p>	147頁 Comprehension	8

	<p>(1)-ウ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、話し合うなどして結論をまとめる。</p> <p>< [言語の使用場面の例] の取扱い > a 特有の表現がよく使われる場面 ・手紙</p>	<p>147頁 Active Work</p> <p>142頁 5, 6行目</p>	
Function 1～5	<p><内容> (1)-ア 事物に関する紹介や報告、対話や討論などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。 (1)-エ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、まとまりのある文章を書く。</p> <p>< [言語の使用場面の例] の取扱い > a 特有の表現がよく使われる場面 ・電話での応答 ・旅行</p> <p>< [言語の働きの例] の取扱い > a コミュニケーションを円滑にする ・相づちを打つ ・聞き直す</p> <p>b 気持ちを伝える ・謝る ・望む</p> <p>c 情報を伝える ・説明する / 描写する</p> <p>d 考えや意図を伝える ・賛成する / 反対する / 主張する ・推論する</p> <p>e 相手の行動を促す ・依頼する ・誘う</p>	<p>各FunctionのQ</p> <p>53, 85, 137頁 It's Your Turn</p> <p>110頁Q (A) 110頁Q (B)</p> <p>26頁19行目, 53頁6, 11行目, 110頁8行目 110頁 8, 18行目</p> <p>Function 4全体 85頁6-7行目</p> <p>Function 2全体</p> <p>①Function 5全体 ②Function 3全体</p> <p>53頁 Model Dialogue 110頁 Q (A)</p>	14
		計	104